

ひと

相互扶助で地域貢献

新型コロナウイルス感染症による甚大な影響が、多くの職業や人々に及ん

でいます。それぞれの事業や社会生活の立て直しを優先的に行った上で、

大牟田ロータリークラブ会長になった

やすもと だいすけ
安元 大介さん



ロータリアンとしての活動を行うのは至極当然ではあるのですが、このような時こそ相互扶助しながら、地域社会に何ができるのかを考えたい。

本年度の第2700地区のテーマは「日本のロータリー100周年『新しいロータリーは機会の扉を開く』です。大牟田RCもそれに倣い「機会の扉を開けに行こう！」を合言葉に活動していきます。

具体的には会員同士が「さまざまな扉を開き、相互扶助の関係をづくり

やすいよう、小グループでの交流の機会を持ちたいと思っています。8月に予定していた第1回の親睦会は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、中止しましたが、本年度はあと2回開催する予定です。

また情報発信の強化を図り、10月にはホームページも立ち上げる予定です。例会や諸活動を通して、「気持ち良く、楽しく、有意義に」過ごしていけるよう、精いっぱい尽くしていきたい。

大牟田市出身。若草幼稚園理事長。大牟田RCには2002年に入会し、今年7月に会長就任。同市上官町在住。59歳。